

令和6年度 北海道青少年のための200冊 新選図書目録（47冊）



公益財団法人 北海道青少年育成協会
〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目 第二道通ビル6階
TEL. (011) 231-6451 FAX. (011) 231-6457
ホームページ: <http://www.ikuseikyoo.jp/>
Eメール: youth@ikuseikyoo.jp

幼児の部

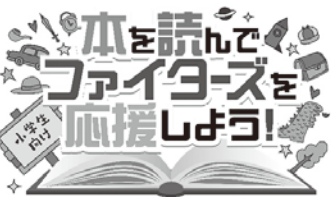
ぼくとクッキーのなかなおり かさい まり (作・絵) 	〔ひさかたチャイルド〕 1,430円	おやすみまくら 斉藤 倫 (文) うきまる (文) 牧野 千穂 (絵) 	〔小学館〕 1,760円
とっても仲良しな“ぼく”とクッキーは、ある日けんかをしてしまう。「もう一緒に遊ばない。」「ぼくも絶対に遊ばない。」と頑なな気持ちも、次第に寂しさや不安が募り、でも自分からは謝れなくて…。仲直りの難しさやもどかしい気持ちに優しく寄り添う絵本。		「今日が終わっちゃう。」と眠りたくない子猫の“こねんこさん”のもとに、「私を枕にどうでしょう？」とふわふわ柔らかいあひるがやってきて…。パンや雲に飛び込んで気持ちよさそうな“こねんこさん”の姿に、枕に包まれたくなる夢のようなおやすみ絵本。	
ねこはわたしのまねばかり クォン・ユンドク (作) 	〔あかね書房〕 1,760円	にらめっこしましょ むっしっし ひかるむしたち よこた いくこ (文) よこた きょうご (絵) 	〔金木屋舎〕 1,650円
私の猫は、知らんぷりすると、こっそり近づいてきて私の真似ばかり。私と猫だけの世界を楽しんでいただけれど、ある日一大決心。私が猫のように体を膨らませ、勇気を出して一歩外の世界へ踏み出します。ユニークな姿に背中を押してもらえる絵本。		よく知っているはずの昆虫も、顔だけ見ると怖かったり、かっこよかったり、ユーモラスだったりという。むっしっしシリーズ3作目は、ぴかぴか光る虫ばかり。モノクロの顔のページをめくるとカラフルな全身が現れ、思わず感嘆の声が上がりそうな絵本。	

小学校1年生の部

いつか きっと アマンダ・ゴーマン (文) クリスチャン・ロビンソン (絵) 	〔あすなろ書房〕 1,650円	どうぞめしあがれ! 松田 奈那子 (文と絵) 	〔ほるぶ出版〕 1,760円
現状を変えたいと願う男の子が、大人たちの嘆きや諦め、悲観の声に屈せず、信念と行動で少しずつ周りの意識を変えていきます。バイデン大統領の就任式で詩を朗読した詩人アマンダ・ゴーマンが、希望のメッセージを込め、夢をもつことの素晴らしさを伝える絵本。		モロッコで暮らすマリアの家族のもとに、友だちのアミンが伝統料理パスティアを持ってきました。次の日曜日、今度はマリアのお母さんがから揚げを作ってお裾分けし、美味しいものを囲んで話に花を咲かせます。お裾分けをテーマに、異文化交流を描いた絵本。	
ねこのゆめ 荒井 良二 (著) 	〔NHK出版〕 1,760円	ちやうちやう ちやうねん もり なつこ (作) はしもと えつよ (絵) 	〔文研出版〕 1,650円
大きな家に住む猫のゆめは、まだ見ぬ街の景色や仲間たちを想像しては夢見ています。街猫たちも、それぞれが行ったことのない道の先、海や空の向こうの世界を夢見ています。想像をする楽しさや未来に続く希望を、温もりある絵と心地よい言葉で紡いだ絵本。		ゆいは、ある日、同じクラスの男の子に「好きかも。」「どうして好きなのは来週教える。」と言われてしまいました。ゆいは、それからの長い一週間、好かれた理由をあれこれ考えますが…。子どもたちの前向きでまっすぐな「好き」に心がほこほこする絵本。	

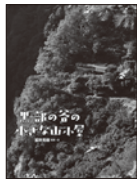
小学校2年生の部

あおをはっけんした ちいさな ヤン みならいえかきのおはなし ジャン・リュック・アングルペール (作) 	〔イマジネーション・プラス〕 1,870円	そんなことも知らないの? バク・ジョンソプ (作) 	〔フレーベル館〕 1,760円
画家のアトリエで働く見習いのヤンは、ある日、大変貴重な顔料「最も美しい青色」の絵を注文され困ってしまった画家を手伝っていると…。現在「ブルシャンブルー」と呼ばれている青色の発見の史実をもとに、化学反応の面白さや少年の成長を織り込んだ絵本。		仲良く群れて泳いでいた色とりどりの小さな魚たちは、腹ぺこで魚たちを食べたいアンコウが流した嘘を信じて、仲間を次々と追い出してしまいます。嘘の情報に騙されて大パニックの魚たちをユーモラスに描き、フェイクニュースに動揺する社会を風刺した絵本。	
水はうたいます まど みちお (詩) nakaban (絵) 	〔理論社〕 2,090円	いえ あるひせんそうがはじまった カテリーナ・ティホゾーラ (作) オレクサンドル・ブローダン (絵) 	〔汐文社〕 1,870円
ひとしずくの water は、まるで透明な音符のよう。まどみちおさんが、身近な“水”が形を変えながら様々な音を奏で世界を巡りながら歌う歌を詩にし、nakabanさんが、詩に満ちる澄み渡る空気や躍動感あふれた“水”の姿を、美しく質感のある姿で描いた絵本。		両親と犬のテレシクと暮らしていたぼくは、戦争が始まり、家を奪われます。不安を募らせるうちに、パパは「心の中の君の家があるべき場所へ導いてくれる」と語り掛けます。ウクライナ侵攻の中で、心を奮い立たせ前を向く少年の姿を描いた絵本。	



北海道日本ハムファイターズでは、2014年から行っている読書促進全道キャンペーン「クラブを本に持ちかえて」の一環で、株式会社パイロットコーポレーションご協賛のもと、「本を読んでファイターズを応援しよう!」キャンペーンを実施します。小学生を対象に夏休み期間前後で、目標冊数（1・2年生＝10冊、3・4年生＝8冊、5・6年生＝6冊）を読み終えた児童にPILOT製文房具がプレゼントされるほか、希望者には、エスコンフィールド HOKKAIDOでの公式戦に150組600名が招待されます。本を選ぶ際には、「北海道青少年のための200冊」を参考にしてください。
〔申込期限＝7月31日まで 詳しくは球団サイトをご覧ください。〕

小学校3年生の部

夏の小川にかがやく宝石、オニヤンマ 日本でいちばん大きなトンボの暮らし 筒井 学 (写真・文) 	〔小学館〕 1,430円	時間をやくパン屋さん キム・ジュヒョン (作) スケラッコ (絵) 	〔金の星社〕 1,540円
日本最大のトンボ、オニヤンマは、緑が濃い森林と澄んだ小川がある環境で出会えるトンボ。眼は宝石のエメラルドのように美しくかがやき、力強く空を飛ぶ。卵からかえって水中での生活、成虫までのオニヤンマのくらしが分かる写真絵本。		3年生のピーターが見つけたパン屋さんは、「時間をやくパン屋」。パンの名前も「わた雪たっぷりパンドーロ」「歯がぬけた日のコーンスコーン」などと変わっている。おじさんは、お客の特別に記憶しておきたい時間をパンに焼くのだ。	
黒部の谷の小さな山小屋 星野 秀樹 (写真・文) 	〔アリス館〕 1,760円		
黒部の谷の山小屋は、冬、雪につぶされないよう毎年建ててはこわす。「登山者の感動の手伝いをするために」と山小屋の主人は語る。その言葉からは自然や人との出会いに対する感謝の気持ちが伝わってくる。自然の美しさや厳しさにも触れることのできる本。			

小学校5年生の部

ぼくはうそをついた 西村 すぐり (作) 中島 花野 (絵) 	〔ポプラ社〕 1,650円	給食が教えてくれたこと 「最高の献立」を作る、ぼくは学校栄養士 松丸 奨 (著) 	〔くもん出版〕 1,540円
同居するおじいちゃんに戦争で亡くなった兄がいることを聞いたリョウタ。それがきっかけとなりヒロシマの町を歩き、当時の人の想いを感じ取っていく。そんなある日、近所中から変な人扱いされている「ヘロウばあ」というおばあさんと出会って…。		小学校になじめず、一人で過ごすことが多かった松丸さん。ふらふらしている給食室の調理員さんに声をかけられる。給食は好きではなかったが、いつしか学校栄養士になりたいという夢をもつようになる。松丸さんのお仕事内容や半生を綴ったノンフィクション。	
ハミングベアのくる村 キャサリン・アップルゲイト (作) 	〔偕成社〕 1,870円		
ハミングベアは、美しい果とかわいらしい姿でみんなに好かれ観光客を集める。一方、サケビーは臭いにおい、うるさい叫びで嫌われる。サケビーが好きな少女ウィロディーンは、見た目だけで判断してはいけなとサケビーを駆除しようとする大人たちに立ち向かう。			

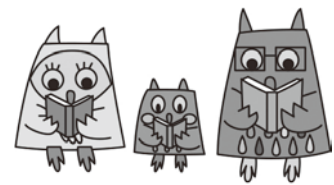
小学校4年生の部

じゅげむの夏 最上 一平 (作) マメイダケ (絵) 	〔校成出版社〕 1,650円	夢への扉を開け! 町田瑠唯 田島 早苗 (執筆) 	〔ベースボール・マガジン社〕 1,980円
主人公4人組は4年生。その中の一人の「かっちゃん」は筋ジストロフィーという病気だけど、小さい時から一緒にいるから特別ではなく、親友だ。その「かっちゃん」が夏休みに川へダイブしたいと言いつ出した。そんな願いを叶えるために他の3人は計画を立てる。		女子バスケットボールの町田瑠唯選手は、北海道旭川市出身。札幌山の手高校を卒業し、東京2020オリンピックでも活躍する。コーチやチームメイト・家族の言葉から、町田選手の「周りの人を大事にしたい」という人となりがよく伝わってくる。	
錦鯉を創る 新潟から世界へ 松沢 陽士 (写真・文) 	〔小学館〕 1,430円		
世界中で愛される美しい観賞魚「錦鯉」は、江戸時代に新潟県で誕生する。見たこともない錦鯉創りに取り組む養鯉場に密着した写真絵本。錦鯉の美しさや誕生するまでが分かるだけでなく、新潟の風土や代々錦鯉を育てる人々の思いも伝わってくる。			

小学校6年生の部

図書館がくれた宝物 ケイト・アルバス (作) 	〔徳間書店〕 2,090円	夜光貝のひかり 遠藤 由実子 (作) 	〔文研出版〕 1,540円
1940年のロンドン。12歳のウィリアム、11歳のエドモンド、9歳のアンナは学童疎開に参加する。身よりを亡くしたきょうだいは、自分達の「家族」を見つけたいという思いをもっていたが…。本がもたらす出会いと家族の物語。		サッカーの代表に選ばれず、ふてくされた生活をおくっていた6年生の彼方。夏休みのある日、1人で奄美大島の叔父のところに行くことに。綺麗な海に心奪われていると、セーラー服を着た幽霊を見てしまう。この幽霊は、何者なのか？ひと夏の少年の成長物語。	
とどけ! ボール つながれ! ぼくらの言葉 村上 晃一 (著) 	〔あかね書房〕 1,430円		
生まれつき耳が聞こえない大塚選手。両親はそれでも強く生きてほしいと、支え続けます。その期待に応え、勉強もスポーツも全力でトライする大塚選手がラグビーを通して伝えたいことは？聞こえないことを力に変えて、前へと突き進む姿は圧巻です。			

令和6年度 北海道青少年のための200冊 新選図書目録（47冊）



公益財団法人 北海道青少年育成協会
〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目 第二道通ビル6階
TEL.(011 231-6451 FAX.(011 231-6457
ホームページ:http://www.ikuseikyoyo.jp/
Eメール:youth@ikuseikyoyo.jp

中学生の部Ⅰ

オリヒメ 人と人をつなぐ分身ロボット 吉藤 オリィ(著) 加藤 悦子(文) 	パフィン島の灯台守 マイケル・モーバーゴ(作) ベンジー・デイヴィス(絵) 
小学生の時に体調をくずし不登校になった著者。その経験からロボットを開発。それが人と人をつなぐ分身ロボットOriHime。カフェにあるこのロボットを操作するのはパイロットと呼ばれ、様々な理由から外出できず、これまで社会とつながれなかった人たちの記録。 1,650円	嵐の夜、遭難した船の乗客を助けた灯台守のベン。助けられた中に5歳のアランがいた。ベンからもらった絵を大切に、また会いたいと願うアラン。島の鳥パフィンを通して灯台守と少年の絆を描く物語。 1,650円
手で見るぼくの世界は 梶崎 茜(著) 酒井 以(画) 	あした、弁当を作る。 ひこ・田中(著) 
視覚支援学校に通う中学生の双葉と佑。晴眼者にかけられた言葉に傷つきながらも、学校での白杖の練習と学びを通して自分たちの世界を広げるまでの成長の物語。視覚に障がいがある人たちがどのように生活しているのかを知り、晴眼者は何ができるだろうか。 1,540円	中学生になった龍樹はある時を境に母親に触れられること、母親の作った弁当が嫌だと感じるようになる。これまでと違う自分に悩み、戸惑いながらも、自分はどうしたいのかを見つける思春期ただ中の中学生男子の反抗期と自立を描く物語。 1,540円

中学生の部Ⅱ

野良猫たちの命をつなぐ 獣医モコ先生の決意 笹井 恵里子(作) 	ケモノたちがはしる道 黒川 裕子(作) 
毎年2万匹の猫が殺処分されている日本。自身の動物との経験から殺される命を減らそうと、野良猫の不妊去勢手術を行う獣医師のモコ先生。保護猫やNTR活動も通して殺処分ゼロを目指す。人と動物の共存を考えるノンフィクション。 1,540円	東京に住みゲームやおしゃれに興味のある中学生の千里。パック詰めにされた手羽先についていた一本の羽毛に驚いてしまう。熊本で箱な猫をする祖父の家に行き「死んだ肉」と「生きた肉」について考え、ジジと体験した猫から千里は「命」を学ぶ。 1,430円
空と星と風の歌 小手鞠 るい(作) 堀川 理万子(絵) 	アップサイクル! ぼくらの明日のために 佐藤 まどか(作) 
「何も知らない」という言葉では済まされない。日本と朝鮮半島との歴史は、これからの国際社会を生きる私たちがきちんと向き合うべき問題だ。在日朝鮮人への差別のみならず、多数派ではないことを理由に受ける差別について考えさせられる三篇の物語。 1,430円	学校のグループ研究の宿題に取り組む中学生3人が、アップサイクルという3Rの一步先に行く活動を知る。この研究を通して持続可能な起業も考え始め、ミーティングを重ねることで3人が社会との繋がりがや人間関係においても成長してゆくさわやかな物語。 1,760円

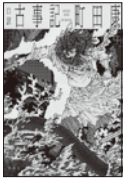
中学生の部Ⅲ

夜空にひらく いとう みく(著) 	水平線のかなたに 真珠湾とヒロシマ ロイス・ローリー(著) ケナード・バーグ(画) 
冤罪ではあるものの、アルバイト先で暴力事件を起こしてしまった高校生の少年。自分の将来をあきらめ心を閉ざしていた。そんな彼が補導委託先の煙火店の人々と暮らす中で、徐々に自分と向き合い被害者家族の感情も知っていく感動作。 1,760円	アメリカの真珠湾・日本のヒロシマを舞台に、両サイドからの視点で史実を語る作品。愛する国・家族を守るため、国の大きな意志に従って戦うしかなかった。ハワイ生まれのアメリカ人であり、かつ日本での在住経験もある作者であるからこそ描き出せた物語。 1,540円
教室のゴルドロックゾーン こざわ たまこ(著) 	14歳からの映画ガイド 世界の見え方が変わる100本 河出書房新社(編) 
子どもは、大人がしっかりしていると思う以上に子どもで、子どもだと思っている以上に大人だ。さみしさはつらいけれど、孤独からわかることもあるのだ。中学生たちの心情や体の揺れ動きが見事に描かれた思春期の心に寄り添う6篇の連作短編集。 1,870円	様々な分野で活躍する第一人者25名が映画の名作を紹介する。思春期に生きづらさを感じたこと、鑑賞して救われた作品があること、その道の専門だからこそ紹介できる鑑賞方法など、それぞれの書き手のメッセージが詰まった映画ガイドブック。 1,562円
あきらめなかった男 大黒屋光太夫の漂流記 小前 亮(著) おとない ちあき(絵) 	江戸を目指し白子港（三重県鈴鹿市）を出港した船頭の大黒屋光太と乗組員の船が嵐に遭い、漂流してたどり着いた先がロシアの離島。言葉も通じず、食べ物も合わない土地で、日本に帰る事をあきらめなかった男たちの不屈のノンフィクション冒険譚。 1,760円



学校での朝の読書や家庭での読書を通じた子どもたちの読書習慣の定着を図るため、北海道「朝読・家読運動」のイメージキャラクターとして誕生しました。
本から心の栄養をたっぷり吸収し、めがねがハート型になっています。

高校生・青年の部

口訳 古事記 町田 康(著) 	それは誠 乗代 雄介(著) 
天武天皇が招した正史『古事記』が、町田康の関西弁による口訳で何とも抱腹絶倒物語として降臨！はるか高みにおられる神々が、近所のおっさんやあんちゃんやらの様相で登場し、傍若無人のお振る舞いで国を作り始める。魅力的な虚構を纏わせた古事記誕生。 2,640円	高校の修学旅行、一日だけの班自主研修は「生き別れになっているおじさんに会いたい」との1人の希望を、架空の研修案を作り教師には内緒で実行することに。一日だけの冒険を通して、彼らがどこまでも真摯に友情を育ててゆく青春のきらめく時間の物語。 1,870円
キーウの遠い空 戦争の中のウクライナ人 オリガ・ホメンコ(著) 	藍色時刻の君たちは 前川 ほまれ(著) 
「鉄のカーテン」と称された旧ソ連のウクライナに生まれた少女は、10歳の時に見た墨絵と版画で日本を知り、日本への憧れはやがて日本の大学で学ぶ道へと繋がる。ジャーナリストであり作家でもある著者が、ロシア侵攻以降のウクライナ社会と人々の心情を語る。 1,980円	宮城県の前川に住む3人の高校生はヤングケアラーとして厳しい毎日を送っている。家族のためにすべての時間を使い、自身の希望など考えることも持つこともままならない。何より周囲の介護への無理解に苦しみ孤立していた。彼らの現在と12年後を描く物語。 1,980円
リラの花咲くけもののみち 藤岡 陽子(著) 	獲る 食べる 生きる 狩猟と先住民から学ぶ“いのち”の巡り 黒田 未来雄(著) 
幼い頃に母を亡くし、父の再婚で祖母と暮らす少女が獣医を目指し北海道の大学に進学をする。寮生活、個性豊かな学生たち、授業で直面する動物の命を奪う容赦の無い現実と命の誕生に立ち会う喜び。自然と動物と人々との出会いが少女の成長をあと押しする物語。 1,870円	NHKテレビ「ダーウィンが来た!」などの自然番組を手掛けていたディレクターが念願の猟師になるまでの記録。カナダ先住民との出会いで知る生き方、文化、獲物を食べる行為の根本にある自然と野生動物へのリスペクト。自然と共にある暮らしの本質を見つめる。 1,870円
知里幸恵 アイヌ神謡集 知里 幸恵(著) 中川 裕(補訂) 	ヒグマは見ている 道新クマ担当記者が追う 内山 岳志(著) 北海道新聞社(編) 
文字を持たないアイヌ民族は口伝で美しい言葉と壮大な物語を語りつないできた。15歳のアイヌの少女・知里幸恵は伝承を自分が後世に残すと決意をする。彼女により初めてローマ字による表記と日本語訳が成された。刊行から100年、新たな解説をつけた補訂新版。 792円	ヒグマの出没、被害は札幌市東区の住宅街で住民が襲われる衝撃のニュース映像で、シビアな現実として我々に突きつけられた。OSO18と名付けられヒグマをはじめ、昨今のヒグマ事故の全容を北海道新聞記事で振り返り、ヒグマ問題をあらゆる観点から考える。 1,430円
風に立つ 袖月 裕子(著) 	リスペクト R・E・S・P・E・C・T ブレイディ みかこ(著) 
問題を起こし家裁に送られた少年を一定期間一般家庭で預かる制度＝補導委託。相談もなく受け入れを決めた父親と戸惑う息子。そしてやって来た非行少年。其々が抱える複雑な事情と心の葛藤、思いが交錯する日々。少年と静かに見守る大人たちを温かく紡ぐ物語。 1,980円	シングルマザーたちが住むホームレス用ホテルにある日突然退却要求通知が届く。なぜ？何処へ行けば？弱い立場であることに甘んじて生きてきた彼女たちは初めて自力で立ち上がることに。2014年にロンドンで起きた公営住宅占拠事件をもとにした熱く痛快な物語。 1,595円

※掲載されている書籍の価格は税込価格です

「北海道青少年のための200冊」選定の柱

- 1 何ものにもくじけない、強じんな開拓精神を育てるために。
- 2 人間の幸せに貢献する科学に尽くそうとする心を育てるために。
- 3 平和を愛し、幸福な社会をつくらうとする心を育てるために。
- 4 人間の尊さを守ろうとする心を育てるために。
- 5 想像力を広げ、豊かな情操を育てるために。

【200冊の選定方法】 北海道学校図書館協会選定部の先生方が、毎月2回実施している選定会の中で読んだ多数の作品から厳選しています。

【活用例】 ①学校では、朝読書や夏・冬休みのおすすめ本として児童生徒に目録を配布、読書感想文の選定図書としているほか、図書購入時の参考資料にも活用
②公立図書館では、「200冊コーナー」を設け図書を紹介
③北海道日本ハムファイターズと連携して、読書推進キャンペーンの参考図書として活用